



校長室より

統合を前に

校長 木下 俊見

私はこの2年間、諸先輩方や地域の皆様方の船中教育への期待と情熱に接し、「学校や校長の役割を見失わず、しっかり前を見る。」と熱いメッセージをいただきながら過ごしてきたように思います。あっという間の2年間、そして、統合に向けての2年間でした。

さて、今、子どもたちを取り巻く社会環境は加速度的な勢いで変化しつつあります。そして、今ほど、子どもたちの社会性や豊かな人間性、道徳性の大切さを叫ばれる時代ありません。言うまでもなく、子どもたちの社会性や豊かな人間性、道徳性は、「学校」だけでなく「家庭」や「地域社会」を通じて育まれるものです。そして、学校教育の充実には、保護者と学校・地域の連携が不可欠であることは、当たり前のことではあります。しかしながら、昨今の教育課題の多様化と責任の追及に翻弄される社会風潮の浅はかさの前に、ともすれば、私たち(学校・教師)だけではなく、保護者や地域にとっても、自己の役割を見失いがちになることは否めないところではあります。私は、「学校や校長の役割を見失わず、しっかり前を見る。」と、今改めて自分に言い聞かせるとともに、地域とつながりみんなで創る八頭中学校をめざして、それぞれの立場で役割を確認し、つながりを失わないような具体的なアイデアを出し合い伝えていくことが、是非とも必要だと思っています。

いよいよ統合を迎えます。私はこの2年間、生徒たちに、私にできることを私なりに考え伝えようと努めてきましたが、統合を前にその責任を果たせたかどうか、若干不安に思う気持ちもあります。今後の八頭中学校、そして八頭町の将来の姿の中に、その答えを見つけないと思っています。

三中学校交流会を行いました。

2月12日、13日に八頭町三中学校の交流会が中央中学校において開かれました。1,2年生が参加し、校舎案内や学校生活のきまりの確認、3校の生徒が一緒に行うレクリエーションがありました。

2年生はグループワークトレーニングで盛り上がり、一人ひとりが積極的に意見を出し合っている姿が多く見られました。

1年生は大縄跳びやジャンケンゲームで最初は少し緊張した様子を見せながらも、各自が自分の役目を果たそうと協力し合っていました。

各学年とも、充実した時間になり、4月の開校に向けて新しい仲間とのよいスタートが期待できそうです。



1年生の交流



2年生の交流



卒業お祝い会食

2月25日(水)、八頭町共同調理場給食センターの花木栄養教諭と、調理員の中山さんをお迎えして、3年生生徒37名と全教職員で卒業お祝い会食を行いました。給食委員の司会進行で開始のあいさつ、お礼の言葉の後、選択バイキング給食の形式で各自が盛り付けを行い、6つのテーブルに分かれて食事をしました。普段とは違った雰囲気、各テーブルに輪になって談笑しながら会食を楽しみました。9年間の給食も残りわずかとなり、名残惜しさを感じながら会食の時間を大切に過ごしました。終わりには垣田将太郎さんが感謝を込めて感想を述べ、会を閉じました。片付けも皆で協力して行い、気持ちよく会を終えることができました。



お礼の言葉



盛り付けの様子



会食



感想